

Global Design Lecture & Seminar



Global Design Lecture 14:55-15:50 [講演：日本語]

「原発事故後の地域復興にICTは使えるのか？」

溝口 勝（大学院農学生命科学研究科 農学国際専攻・教授）

原発事故から6年が経過し、農地除染もある程度進み、一部を除き避難指示が解除された。しかし、森林除染の是非や空間線量の評価、地域の生業・農畜産業再開など課題が多く残っている。本講義では講師がこれまで現地で取り組んできた農地除染や農業再生の試みを紹介しながら、地域復興を実現する上で学生に求められている役割と使えるようなICT技術について議論したい。聴講希望者は事前に下記のページの「資料」を拾い読みしておいてもらいたい。

[飯舘村関連の講義] <http://www.iai.ga.a.u-tokyo.ac.jp/mizo/edrp/fukushima/iitate-lec14.html>

Global Design Seminar 15:50-16:40 [講演：日本語]

「ソフトウェアによる物理ネットワーク自動テストの考え方と実装例」

萩原 学（新日鉄住金ソリューションズ株式会社技術本部 システム
研究開発センター システム基盤研究部・主務研究員）

SDxやIaCなど、ソフトウェアによってシステム(システム基盤)を操作するという考え方が一般的になってきました。複雑な計算機リソースをソフトウェアで操作してサービスを実現すると、今度はそのシステムをどうテストするかが重要になります。今回は、テストに物理構成要素の操作が含まれて自動化が難しい、物理ネットワークをテスト対象とします。「ネットワークのテスト」をソフトウェアによってどう自動化可能になるか、デモを交えながら紹介します。

6月15日（木） 14:55～16:40

工学部3号館2階 GCLラボ

GCLプロジェクトインキュベーション機構 (pim@gcl.i.u-tokyo.ac.jp)